



あいさつ

会長 廻谷 三郎

新学制に基づく中学校も、明後年で創立三十周年を迎え、全国的にはその記念事業がとりざたされています。転換期と呼ばれている今日、あらためて中学校の役割と使命を明確に認識し、有効適切な管理運営に努めなければならない時期に当面しているように思われます。

「ひとりひとりが豊かに伸びる 中学校教育」の主題のもと教育課程ほか7分科会に掲げた関プロ中学校長研究協議会栃木大会は、こうした時期にふさわしい内容であり、今後の中学校教育の前進に大きな役割を果たし得たものと信じます。足かけ二年にわたるこのたびの大会が、好評裡に完了し得たことはこれひとえに、本県中学校長会の本部と地区校長会が緊密のもとに、それぞれの役割分担を主体的に遂行したおかげであって、この体制が今後のわれわれの活動にとって、何よりの収穫であったと思われる。それにしても会員諸氏には、公私多忙の立場があり、まことにご苦勞が多かったこと、心からお礼を申しあげます。

さて本年度も半ばを過ぎ、いよいよ後半に入りました。全国的な問題はさておき、本県中学校長会総会で承認された、運営方針・活動の重点目標をあらためて再確認し、役員・事務当局ももとより、会員各位との一致団結のもとその実現に努めるべき時期に当面しております。教職員の人材確保対策の推進、生徒の福祉条件の充実促進、公立高校増設と入試制度の改善、義務教育尊重の気風の高揚、会員の研修活動の推進その他。これらの中には、すでに実施され改善されつつあるものがありますが、財政事情に左右されることも多く、地方財政の厳しい状況下にあつては、完全な解決は容易な業ではないように思われます。然しながら腕をこまねいている事柄ではないので、決意を新たにしてその打開に渾身の力を

払うべきでありましょう。

今やわが国社会的・経済的に大きな転換期にあるといわれています。教育もまたその例外ではありません。この時にあたりわれわれ校長会は、県民の強い期待と要請に応えるべく、将来に対応する正しい教育を推進し、中学校教育の発展に全力を傾注することを誓いたいものであります。会員諸資の一致団結により見事な成果が期待されるよう、絶大なるご協力をお願いする次第であります。

~~~~~  
 関プロ校長会終る  
 ~~~~~

関プロ校長会は6月19・20日の両日にわたり栃木会館を主会場で開催され、盛會裡に幕を閉じることができた。以下、会員の声を次にひろってみる。

◇大会準備について

- 種々配慮が行届いて、安心して参加できた。(長野)
- 大会主題は、誠に適切であり、この精神が大会全体の雰囲気からも感じられた。(新潟)

◇大会、分科会の運営について

- 実施要綱までつくられての細かいご計画と貴校長会の一丸となつてのご配慮、心から御礼と、全体として申し分なしといった感じ。欲を言えば、全体提案と質疑、さらに最終日の分科会報告と全体協議の時間をもう少し多く欲しかった。(茨城)

◇宿泊について

- 清潔で感じがよく、料理もよかつた。19日も午後4時以前から気持ちよく荷物等あづかつてくれた。欲を言えば分宿でなかつたらよい。(神奈川)
- 感謝したい。できれば温泉地が望ましいが、会場、収容人員、距離、輸送などで無理かも知れないが。(群馬)

◇その他について

- 記念講演は評論家等やわらかな一般教養がよい。分科会の打ち合わせ会は事前に丸一日つぶしてこなくても、当日午前に来ててもよかつた。(東京)
- 栃木の教育の正常な動きと人情の厚さを感じた。先の案内の浜田正司氏の講演が林先生にかわつた点、何か説明が欲しかった。(新潟)

会計決算書

収入 4,874,930円 支出 4,874,930円

収入の部

項目	予算額	収入額	増減	摘要
1 会費	2,610,000	2,610,000		3,000 × 870 校
2 負担金	(1) 関プロ 500,000	500,000		
	(2) 栃木県 300,000	300,000		
	(3) 宇都宮市 250,000	250,000		
	(4) 県下市町村 504,000	504,000		
3 雑収入	(1) 寄付金 500,000	663,800	163,800	協賛金
	(2) 栃中教研 0	20,000	20,000	
	(3) 利子 6,000	27,130	21,130	利子
合計	4,670,000	4,874,930	204,930	

支出の部

項目	予算額	収入額	増減	摘要
総務	9,092,000	1,180,916	271,916	
1 庶務	5,122,000	654,185	142,185	
	(1) 印刷 100,000	217,700	117,700	実施要項・大会案内等
	(2) 通信・通設 100,000	106,365	6,365	通信・電話料・送料
	(3) 旅費 60,000	69,500	9,500	派遣旅費・交通費
	(4) 消耗品 202,000	213,720	11,720	用紙・文房具・等
(5) 手当 50,000	46,900	△ 3,100	諸手伝の謝礼	
2 会議	3,970,000	526,731	129,731	
(1) 関プロ野合	180,000	262,000	82,000	関プロ理事会・理事打合せ
	(2) 企画委員会 70,000	60,960	△ 9,040	運営等の委員会
	(3) 部長会 30,000	26,560	△ 3,440	
	(4) 部会 67,000	67,000		
	(5) 委員会 50,000	110,211	60,211	要項編集委員会等
3 運営	5,567,000	3,434,360	△ 132,640	
(1) 宿泊	50,000	50,000		全日中役員
	(2) 渉外 100,000	130,000	30,000	渉外関係
	(3) 研視成 300,000	300,000		30,000円×10部会
	(4) 運営費 812,000	798,000	△ 14,000	350×2,280人昼食
4 資料	1,455,000	1,272,000	△ 183,000	
(1) 大会誌 715,000	627,000	△ 88,000	570×1,100部	
	(2) 報告書 490,000	500,000	10,000	報告書1,400部
	(3) 名簿 100,000	30,000	△ 70,000	協賛名簿等
	(4) 資料 100,000	80,000	△ 20,000	大会誌編集資料等
	(5) 調査 50,000	35,000	△ 15,000	"
5 業	850,000	884,360	34,360	
(1) 会場費 200,000	217,700	17,700	会場借用等	
	(2) 看板料 240,000	228,500	△ 11,500	看板・掲示物・器具借用
	(3) 手当 120,000	113,000	△ 7,000	P T A 援助謝礼等
	(4) 謝金 210,000	218,400	8,400	講師・レクリエーション謝礼
	(5) 接待 20,000	21,000	1,000	会員・来賓・茶及び茶菓
	(6) 消耗品 60,000	85,760	25,760	マジックインク、フィルム、用紙等
雑費	40,000	195,550	155,550	記念品代を含む
予備費	154,000	64,104	△ 89,896	雑費へ
合計	4,670,000	4,874,930	204,930	

上記のとおり報告いたします  
昭和50年10月7日

栃木県中学校長会長 廻谷三郎  
" 事務局長 篠原俊雄  
" (関プロ) 会計部長 小川禎三

第28回 関東甲信越中学校長  
研究協議会新潟大会実施要項

1 期 日 昭和51年6月16日(木)17日(金)  
18日(土)

2 大会会場 全体会場 上越市厚生南会館大ホール

3 大会事務局 〒943 上越市南新町 上越市立城西中学校内  
関東甲信越中学校長研究協議会  
新潟大会事務局  
TEL 0255(23)7222

4 参加費 1人 3,500円

5 宿泊 新潟県妙高々原町赤倉温泉  
1泊 6,000円(見込)

- 6 研究協議議題
- (1) 全体会  
「中学校教育の特質と役割を究明し、その実現を目指す改善方策」  
中学校教育の将来の展望に立って  
主題設定の基本的態度
- 全日中が標榜している「人間尊重、理念」に立って「中学校教育の特質と役割を究明し、その実現を目指す改善方策」を具体的に策定する。
  - その一つの焦点として「豊かな人間性」の育成に主眼をおき、具体的な方策を究明したい。
  - 政治・経済・社会の危機、加えてモラルの危機の現代の姿をみたとき、これからの社会のあり方、人間のあり方において「人間尊重の理念」が基盤でなければならないとともに、その中核的目標は豊かな人間性の育成である。
  - 関プロ栃木大会の提案である「教育改革の諸問題は結局は教育において形成すべき人間像の問題に帰着」の上に立ち、全日中函館大会長崎大会における関プロ研究担当分野である「中学校教育正常化のための高校入学者選抜制度の改善についての主題を視点として内容を究明していきたい。
- (2) 分科会

- 第1分科会(学校経営)  
「豊かな人間性」の育成からみた中学校教育の問題点と、その改善のための学校経営はいかにあるべきか(茨城・新潟研修部)
- 第2分科会(学校制度)  
中学校教育における学校週5日制の意義を究明し、学校教育と家庭教育・社会教育とのかかわり合いを明確にするとともに、その実施に当たってどのような条件・方法が必要か(山梨・新潟制度部)
- 第3分科会(教育課程)  
これからの中学校教育課程の編成実施はいかにあるべきか(東京・新潟教育課程研究部)
- 第4分科会(特別活動と部活動)  
中学校教育における部活動の役割とその位置づけはどのようにしたらよいか。  
(埼玉・新潟中体連対策部)
- 第5分科会(進路問題)  
中学校生徒の進路志願の現状に対応する進路対策のあり方はどうあるべきか。  
(栃木・新潟進路対策部)
- 第6分科会(教育条件)  
これからの中学校教育における施設、設備、教職員等の設置の望ましいあり方はいかにあるべきか。  
(神奈川・新潟政対策部)
- 第7分科会(教師のあり方と研修)  
教職員の資質を向上し、指導力を高めるにはどのような対策が必要か。(千葉・新潟教職員対策部)
- 第8分科会(過疎、過密、へき地教育)  
過疎過密地域の学校経営はどのようにしたらよいか。  
(長野・新潟辺地教育部)
- 第9分科会(生活指導と教育環境)  
現代の社会環境における生徒指導上の問題点とその対策をどのようにしたらよいか。  
(群馬・新潟環境問題部)

昭和50, 専門部役員

- ◎ 長 ○ 副
- 調査部 ◎ 塚原(河) ○ 高柳
- 研修部 ◎ 増淵(河) ○ 川島(甲) ○ 村徑(安)
- 編集部 ◎ 小林(甲) ○ 金田(河) ○ 柴山(上)
- 職員対策部 ◎ 鈴木(甲) ○ 藤掛(安) ○ 大谷(河)
- 進路対策部 ◎ 三尾谷(那南) ○ 横田(磐) ○ 小竹(安)
- 修学旅行部 ◎ 伊藤(甲) ○ 山口(那南) ○ 鹿沼(安)
- 福利厚生部 ◎ 小池(甲) ○ 上野(河) ○ 猪野(下)

## 義務教育振興大会終る

第6回義務教育振興大会は、10月21日栃木会館において、知事始め多数の来賓のご臨席をいただき盛会裡に幕を閉じた。当日の宣言決議は次のとおりである。

### 宣 言

進展する将来の社会的要請に応え、人間育成の基に立ち、教育を真に確立することは、文化国家としての今日的課題である。

「教育課程の全面的改善」をはじめ「教育者の優遇措置」等は、国は生涯教育の観点から重要施策の実現を計られつつある。

思うに、社会一般の、教育に対する関心と期待はまことに強いものがある。

ひるがえって、本県教育の現状を見ると、着々とその実績を挙げつつあるが、われわれは、新しい角度と展望に立って、改めて現下の教育を深く認識し義務教育の充実発展を心から希求するものである。しかもその具体的方法を探求し、もって県民の信頼に沿うべく、努力を傾倒しなければならぬ。

ここ第六回栃木県義務教育振興大会に際し、左記事項を決議し、協力一致その実現に邁進することを宣言する。

### 決 議

- 1 教育栃木の建設を目ざし、義務教育の振興を図る。
  - (1) 師道の確立に努力し、専門職にふさわしい教師となる。
  - (2) 家庭教育の充実を図り、敬愛される父母となる。
- 2 教育条件の充実を図る。
  - (1) 小中学校の施設・設備の充実
  - (2) 児童・生徒の校外学習のための施設の新増設
  - (3) 在学青少年の社会体育施設の建設
  - (4) 心身障害児教育の充実振興
- 3 人材確保のための、諸条件の改善を図る
  - (1) 教職員の待遇改善
  - (2) 県単教職員の増員

- 4 公立学校共済組合事業の改善充実を図る。
- 5 教育会館移転建設の促進を図る。

## トピックス

### ◇会員の異動

#### 退会者

- |         |               |
|---------|---------------|
| 大田原・野崎中 | 佐藤政二(死亡)      |
| 藤原・三依中  | 阿部五平(鹿沼東中へ)   |
| 那須・伊王野中 | 近藤恵仁(那須町教育長へ) |

#### 新会員

- |         |                |
|---------|----------------|
| 藤原・三依中  | 佐藤昇一(栗山・日向小から) |
| 黒羽・両郷中  | 池沢三男(那須事務所から)  |
| 那須・伊王野中 | 益子茂寿(那須朝日小から)  |

### ◇海外派遣者

- |          |           |
|----------|-----------|
| 大田原・金田北中 | 船山 三男(長期) |
| 茂木・逆川中   | 町井 勝位(長期) |
| 矢板・矢板中   | 大貫 順作(短期) |
| 二宮・長沼中   | 大根田 董(短期) |
| 小山・小山二中  | 長浜 精(短期)  |
| 黒磯・黒磯中   | 桜井 宣男(短期) |

### ◇三依中の火災見舞

去る9月3日、本会から廻谷会長、篠原事務局長が、藤原町を訪れ、藤原町町長、教育長にお見舞いを申し上げ、全会員の見舞金1,723,534円を差上げた。町長教育長から再度のお見舞いをいただき感謝にたえない全会員によりしくお伝え下さいとのあいさつをいただく。

### 編 集 後 記

会報第2号たいへん遅れてしまった。本年は関プロ大会の大会誌、報告書作成など、急がしい年であった。それでも年内発刊になり、ホットした。来年は早めに第3号を創りたい。会員諸賢のよい年を迎えられんことを念じて、本号をお届けする。